

令和8年度 第1回飯島町地域公共交通協議会
会議録

日時：令和8年2月27日（金）午後1時30分～午後3時04分
場所：飯島町役場 西庁舎 営農研修室

出席者（委員：26名）

会長	飯島町 町長	唐澤 隆（委員長）
委員	飯島町 副町長	宮下 寛
委員	飯島町議会 議長	宮脇 寛行
委員	飯島町議会 議員	伊藤 秀明
委員	飯島町議会 議員／ いいちゃんまちづくり連絡協議会 会長	坂本 紀子
委員	飯島町商工会 副会長	片桐 明（副委員長）
委員	セブン自動車有限会社 代表取締役	熊谷 良一
委員	飯島町社会福祉協議会 会長	箕浦 税夫
委員	飯島町民生児童委員協議会 協議会代表者	中村 やよい
委員	飯島町観光協会 会長	久保島 巖
委員	飯島町交通安全対策委員会 会長	北澤 敏秀
委員	飯島中学校PTA 会長	平林 克基（欠）
委員	上伊那まなびのネットワーク飯島支会 支会長	矢澤 美和子
委員	株式会社葵交通 代表取締役	守屋 俊宏
委員	伊那バス株式会社 代表取締役社長	藤澤 洋二（代）
委員	東海旅客鉄道株式会社 伊那市駅長	柴田 圭
委員	飯島町区会 区長代表者	堀内 善之
委員	国土交通省北陸信越運輸局 交通企画課長	大村 進太郎（WEB）
委員	国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局 首席運輸企画専門官	山岸 康範（WEB）
委員	長野県駒ヶ根警察署 署長	高田 博和（代）
委員	長野県伊那建設事務所 企画幹兼維持管理課長	丸山 真
委員	長野県企画振興部交通政策局 交通政策課長	丸山 正徳（WEB・代）
委員	長野県上伊那地域振興局副局長兼総務管理課長 兼企画振興課長	高野 雅彦（代）
関係職員	総務課 課長	堀越 康寛
関係職員	建設水道課 課長	片桐 雅之
関係職員	健康福祉課 課長	小林 正司
関係職員	教育委員会事務局 次長	藤木 真由美

(事務局)

企画政策課 課長
企画政策課企画係 係長
企画政策課企画係 主査
企画政策課企画係 主任

座光寺 満輝
西村 務
湯沢 絢佳
大澤 志織

1. 開会 (座光寺課長)

2. 委嘱状交付 (唐澤町長)

委員を代表し「飯島町議会議長」宮脇 寛行委員に交付。その他の委員は机上に準備。

3. 会長あいさつ (唐澤会長)

・協議会会長ということで、一言ご挨拶を申し上げます。本日は大変お忙しい中、特に年度末ということで、公私ともに大変お忙しい中各方面から委員としてお集まりいただきまして誠にありがとうございます。また今日は、国交省の北陸信越運輸局、長野運輸支局、それから県の交通対策局の方がWEBで参加しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

・町は、平成19年まで福祉バスということで、社会福祉協議会が地域の交通弱者の皆さんの足として運行してまいりましたけれども、19年の4月から循環バスを運行してまいりました。その後、21年の4月からですね。いいちゃんバスということで、今も続いていますけれども、運行形態の違うバスということで運行していて、もうかれこれ20年になります。

・今までは地域公共交通会議ということで、任意の会議で決定しまして、地域の皆さんの代表者の方により運行をしてきたところであります。また、地域の様々な関係機関の皆さんのご協力をいただいて運行してきたところでありますけれども、やはり今は免許を返納したり、あるいはご高齢になったりした方が、地域内、また地域外に出ていくときに、やはり交通の足がないというところで、非常に困られているということで、今回は国の基準に基づきまして、地域公共交通協議会ということで、お集まりいただきまして、これからこの地域の公共交通をどうしていくかということで、2年余りかけて計画を策定したいということであります。ご助言をいただくために、それぞれ関係する皆さんにお集まりいただきました。

・近隣市町村でも、いろいろな形態で地域公共交通が運行されております。1つの市町村だけではなくて、広域的な連携も必要になってまいりますので、そういった面も引き続きご検討いただきたいと思いますし、また町にはJRもありますし、また、民間で運行している業者の皆さんもいらっしゃいます。なので、そういった地域の足となる公共交通、全てを網羅しまして、全体を計画しながら、交通計画を策定していきたいと考えております。その後、令和10年から新たな形として地域の公共交通を組み立てていきたいと考えておりますのでどうかよろしくお願ひしたいと思います。

・ここにお集まりの皆さんもまだ車を運転できますし、しっかりと自分の足で行ける方も多いわけですが、飯島町の高齢化率も 38.2%と、上伊那では一番高くなっております。ご高齢の方も増えておりますので、そういった皆さんの意見もしっかり聞きながらですね、この計画を立ててまいりたいと思います。皆様方のご意見をいただきながら計画を立てていきますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ。長い期間の会議になると思います、資料もたくさんありますけれども、色々なご意見をいただきながら行ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4. 委員自己紹介（座光寺課長）

WEB で参加の委員から自己紹介を行ったのち、配席表の順番で行った。

5 協議事項

(1) 議案第 1 号 副会長及び監事の指名について

—事務局より、以下の要綱等について説明—

【資料 4】飯島町地域公共交通協議会運営要綱

【資料 5】飯島町地域公共交通協議会会議運営規程

【資料 6】飯島町地域公共交通協議会財務規程

【資料 7】飯島町地域公共交通協議会委員等の報酬及び費用弁償に関する規定

【資料 8】飯島町地域公共交通協議会事務局規程

【資料 9】飯島町地域公共交通協議会公印規程

【資料 10】飯島町地域公共交通協議会文書の公開に関する取扱要綱

【資料 11】飯島町地域公共交通協議会幹事会規程

(座光寺企画政策課長)

・地域公共交通協議会運営要綱第 6 条第 1 項の規定によりまして、会長が議長を務めることとなっております。ここからは会長の進行でお願いいたします。

(唐澤議長)

・それではこれより会議の次第に基づきまして、協議事項に入らせていただきます。本日の委員会には委員総数 28 名中、半数以上の 26 名が出席をいただいております。飯島町地域公共交通協議会の運営要綱第 6 条第 2 項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。

・それでは協議事項の順番に従いまして進めさせていただきます。(1) 議案第 1 号、副会長および監事の指名について、事務局より説明をお願いします。

(座光寺企画政策課長)

・飯島町地域公共交通協議会運営要綱第 4 条第 3 項の規定によりまして、副会長および監事は議員の中から会長が指名をすることとされております。副会長および監事につきましては、会長にご指名をしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(唐澤議長)

- ・ただいまの説明のとおり、飯島町地域公共交通協議会の運営要綱に従いまして、副会長、監事を指名させていただきたいと思えます。
- ・副会長に、片桐 明委員様、よろしくお願ひいたします。
- ・監事に箕浦 税夫委員様、もうひと方、中村 やよい委員様、以上を指名させていただきますのでよろしくお願ひいたします。何かご意見ご質問等ありましたら、お出しいただきたいと思えます。

—意見なし—

(唐澤議長)

- ・では、異議なしということですので承認させていただきます。よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。それでは、副会長の片桐様につきましては、正面の席にお着きいただきたいと思えます。それでは、一言ご挨拶をお願ひいたします。

(片桐副会長)

- ・ただいまご指名をいただきました、飯島町商工会副会長をやらせていただいております、片桐 明と申します。微力ながらよろしくお願ひいたします。
- ・この協議会は、これからの飯島町の地域公共交通の基本となる計画を策定していく、重要な会議だと考えております。この場には様々なお立場の皆様が委員としていらっしゃっています。ぜひ幅広い観点から率直なご意見を頂戴し、よりよい飯島町の未来に向けた計画を策定していけるよう、ご協力のほどよろしくお願ひします。またこの会議がスムーズに進行できますように、重ねて皆様のご協力をお願ひしたいと思えます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

(唐澤議長)

- ・ありがとうございました。それでは箕浦監事、一言お願ひいたします。

(箕浦監事)

- ・ただいま監事にご指名いただきました、飯島町社会福祉協議会の会長を務めております、箕浦でございます。よろしくお願ひいたします。

(唐澤議長)

- ・ありがとうございました。それでは中村監事、お願ひいたします。

(中村監事)

- ・ただいまご指名いただきました、飯島町民生児童委員協議会の中村やよいと申します。よろしくお願ひいたします。

(唐澤議長)

- ・ありがとうございました。それでは次の協議事項に移りたいと思います。
- ・(2) 議案第2号 令和7年度飯島町地域公共交通協議会予算(案)につきまして、事務局より説明をお願いします。

—事務局より説明—

(唐澤議長)

- ・それでは、何かご質問等ありましたらお出しいただきたいと思います。

—意見なし—

(唐澤議長)

- ・それでは、事務局から提案のありました議案第2号につきまして、決を取りたいと思いますがよろしいでしょうか。
- ・それでは、決議に移らせていただきます。飯島町地域公共交通協議会の運営要綱第6条第4項の規定によりまして、会員の議決は、出席した委員の過半数で決定するものとし、可否同数のときには議長の決するところによるということであります。本日出席26名でございますので、13人以上の賛成で可決となります。
- ・提案に賛成の方、挙手をよろしくお願いいたします。

—全員挙手—

(唐澤議長)

- ・はい、ありがとうございます。全員挙手ということであります。従いまして、協議会としましては議案第2号について、原案の通り認めることを決定いたしました。ありがとうございました。
- ・それでは次の協議事項に移ります。(3) 議案第3号 令和8年度飯島町地域公共交通協議会予算の案につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

—事務局より説明—

(唐澤議長)

- ・ただいま提案のありました令和8年度の予算案につきまして、何かご意見がありますでしょうか。

—意見なし—

(唐澤議長)

・それでは、意見等ないということですので、先ほどと同じように決議に移らせていただきたいと思います。それでは提案に賛成の方挙手をお願いいたします。

—全員挙手—

(唐澤議長)

・ありがとうございました。挙手全員ということでありまして、協議会としまして、議案第3号について、提案の通り認めることに決定いたしました。

・それでは、次の協議事項に移らせていただきます。(4) 議案第4号 議事町地域公共交通計画の策定について、事務局より説明をお願いいたします。

—事務局より説明—

(唐澤議長)

・それでは、現状、それから公共交通計画の策定について、また手続きについて説明がありましたけれども、全部についての意見をいただくと大変ですので、項目ごとに意見をいただいきたいと思います。

・まず1ページ、飯島町の地域公共交通の現状と課題について、ということでありませけれども、この項目について、何かご質問やご意見等ありましたらお出してください。

—意見なし—

(唐澤議長)

・よろしいですかね。だいぶ利用状況が減ってきているということが確認できたと思います。それでは6ページからの策定に向けて、の項目について、ご質問ご意見等ありましたらお出しいただきたいと思います。

(宮脇委員)

・8ページの4、飯島町公共交通計画の基本事項という項目があるんですが、計画の区域ということで、飯島町全域とここであっているわけですけども。他市町村との連携ってということについては、どこにも触れていなかったと思うのですが、その辺のお考えは、何か今現在持っておいでになるかどうかというのをお聞きしたいです。

(西村企画係長)

・計画区域につきましては、他の近隣自治体、先進的に取り組んでいるところがございますが、この地域公共交通につきましては、地域公共交通網形成計画という元々ある計画がございます。こちらをベースに各自治体さん更新等をしているわけですが、当町につきましては今回新たにゼロベースで作るという背景もございまして、まずは飯島町の計画を策定いたしまして、委員がおっしゃるように広域の部分につきましてもいろいろと情報収集等しておりますので、それにつきましても、この協議会の中で調査していきながら策定をしていきたいという風に考えております。

(唐澤議長)

・よろしいでしょうか。

(宮脇議員)

・はい。

(唐澤議長)

・その他ありましたらお出しいただきたいと思います。

(坂本委員)

・飯島町全域ということなんですけど、今こういうものが欲しいとかっていうニーズの把握というのは、どこでどのようにやるというようになっているんでしょう。どこかにありましたか。

(西村企画係長)

・9ページをご覧ください。令和8年度のタスク④に、利用者へ移動特性やニーズを把握するというアンケートを予定してございますので、よろしくをお願いします。

(坂本委員)

・関連で。そのニーズの把握についてなんですけれど、高校生、中学生、小学校は町でスクールバスを出してるんですけど、アンケートの出す範囲をうまく特定した形で広くっていう形でやっていけば、このラインをどういうふうに繋げていくかっていうのがある程度把握できるので、そこをしっかりとっていただきたいと要望いたします。

(唐澤議長)

・要望でよろしいでしょうか。

(坂本委員)

・はい。

(唐澤議長)

・策定について、その他ありますでしょうか。

(久保島委員)

・本町ではですね、高校生、中学生が乗れるようにバスは運行していないというのがあって、8ページ、議長がおっしゃった区域の対象のところにですね、最後の方にスクールバスというのがございます。位置づけとして今回は取り入れるということでよろしいかどうか。

・もう1点で、観光という方面によって、例えば千人塚とか、春日平のiiネイチャーとか、それと駅とを結ぶ路線はないわけですが、その辺のところも公共交通として取り上げる可能性もあるのか、お願いします。

(西村企画係長)

・1つ目のスクールバスの関係でございますが、委員さんがおっしゃるように色々なお声が聞こえております。これにつきましては今回計画を作る中で、新たに取り組んでいきたいというふうに考えております。

・2つ目、観光の関係でございます。こちらにつきましては先ほどご質問いただいたニーズの関係、アンケート調査をする中で出てくるんじゃないかと想定はしております。その中でまたいろいろ議論、検討していくというふうに思っております。お願いいたします。

(久保島委員)

・そうしますとアンケート調査をする中で、町外からの観光客の皆さんとかも調査の対象になるということよろしいですか。

(西村企画係長)

・アンケート調査につきましては、仕様書の関係等も今後進めていきますので、そこも含めて検討していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(唐澤議長)

・よろしいですか。

(久保島委員)

・はい。

(唐澤議長)

・それでは、11ページ以降、計画のポイントや手続きについて、ご質問等ありましたらお願いします。

(大村委員)

・全体として、公共交通計画を1から、今回初めて策定されるということで、こちらも力で、国としてもバックアップ、ご支援をさせていただきたいと思っております。今回の事業量調査にも手を挙げていただいておりますので、この点については手続きを進めていきたいと思いますが、まだ手挙げをいただいている段階ですので、結果については引き続きお待ちいただければと思います。公共交通計画については、国全体として今これを作らないと各種予算支援自体も受けられないというような類になっているので、予算支援を受けるために、地域公共交通計画をまず作らなきゃいけない、という意識になる自治体さんも大変多いんですけども。公共交通計画自体は、やはり次の世代に町の交通政策をしっかりと引き継ぐってという意味もありますし、今の町内の公共交通をしっかりと整理した上で次に向けた一手を考える、そういった手がかりにさせていただくためのツールですので、ぜひとも、令和10年度からの3ヶ年のみならず、その先その先も中長期的にサイクルを回し続けていただきたいと思いますと思っております。

・ポイントの中、14ページに広域連携といったところが触れられてございました。おそらく隣町隣市との広域交通も含めた連携だと思んですけども、広域交通のご検討に際しては、今長野県さんの方でも県計画の更新ということで、その足の並みも踏まえてご検討を進めていただければなと思っております。せっかく今回2ヶ年かけてじっくりと計画を作られるということですので、その点も含めて調査に盛り込んでいただければなと思っております。

・いま国として、地域の輸送資源の総動員と銘打って、例えば病院の送迎バスとか、商業施設の送迎バス、またスクールバス、こういったあらゆる輸送資源も含めて公共交通をどう維持していくかといったところを考えていただきたいと思いますとも言っておりますので、ぜひ既存のタクシーバスとかだけじゃなく、全ての輸送資源も含めたご検討をいただければなと思っております。

・最後、手続き面のところで1点だけ補足というか、事実誤認があるかもしれないので念のため訂正させていただくと、16ページですけども、国からの支援の項目で、市町村の口座では補助金を受けることができないとあるんですけども、今のところ本省から聞いている限りは、市町村口座も問題ないです。ただ、①に書いてあります通り、補助対象者としては基本的に協議会になりますので、基本的には協議会名義。ですけど、その先の振り込み先口座自体は市町村口座でも問題ない旨は聞いております。が、この点も含めてかなりちょっと細かい手続きの話になるので、引き続きうちの事務方とやり取りをしていただければなと思っております。

・いずれにせよ今回が初の公共交通計画策定に向けた協議会だと認識してございますので、引き続き当局としても伴走支援させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(西村企画係長)

・訂正しておきます。

(唐澤議長)

・その他、全体を通じてでも結構ですので、何かありましたらお願いしたいと思います。

(箕浦委員)

・アンケートのとり方なんだけれども、ペーパーだけの方式でいいのかどうかということ。高齢者の皆さんで、アンケートに手で筆記用具を持って答えるということが非常に困難な方もおります。できたら、聞き取り調査とか。もし必要があれば、社協の方でお手伝いができる部分もありますので、高齢者の部分については、そんな方法も含めてやっていただきたいと思いますので、またよろしく願いいたします。

(西村企画係長)

・説明不足で大変申し訳ございません。先ほどの 9 ページのタスク③の中に、利用実態調査というものがございます。こちらにつきましては、今委員さんおっしゃったように、高齢者の方ですとかそういった方々の声を聴くために実際バスに乗っていただきまして、お声を聞いたりですとか、駅ですとか、他の施設ですとか、そういったことも今考えております。そこも入れながら仕様書を作っていくというふうには思っております、お願いいたします。

・また回答につきましては、紙だけじゃなくてWEBでも行う予定でおりますが、ただなかなかスマートフォンもそうですけど、お持ちでない方もいらっしゃるというところもございますので、なるべくそういった方に対しても、良い形で行っていければというふうに思っています。

(唐澤議長)

・アンケートについては幹事会で検討していくということでよろしいですか。

(西村企画係長)

・はい。

(唐澤議長)

・その他ありましたらよろしく願いいたします。

(伊藤委員)

・10 ページですけれども、スケジュール予定で、4月24日までに第一次とあって米印で参加申し込みが4社以上の場合実施とあるんですけどこれ4社以下だと、これは実施できないということなんででしょうかね。どういう理解なんででしょうか？

(湯沢主査)

・プロポーザルにつきましては、参加申し込みが4社以上の場合は第一次として参加申し込み時点での審査をさせていただいて、3社以下に絞り込むという流れでございます。

ですので、3社以下の場合は、第一次の審査がなく、二次審査にその3社以下が全部進む、というようなイメージになっております。

(唐澤議長)

・よろしいでしょうか。その他ありましたらお願いいたします。

(長野県(代理:寺島主任))

・1点だけ、県の計画の関係もございまして、そこの紹介とお願いといったところをお話させていただきたいと思っております。今回飯島町さんの方で計画策定をするにあたりまして、県の方にも県計画というのがございまして、令和6年度に策定をしております。こちらの県の計画にあたっては長野県と県内全市町村、全ての構成で策定をしたものとさせていただいております。計画の中では通院・通学・観光の移動を保障する、という形で位置づけておりまして、自家用車に頼らなくても不便なく安心して暮らせる持続的な可能な社会を目指していくということで、目標を掲げさせていただいております。

・今回、飯島町さんの方で計画を策定するにあたって、ぜひこの理念も踏まえて計画を策定いただくと、長野県全体の移動の確保ということができるとかと思っておりますので、ぜひお願いできればと思っております。

(唐澤議長)

・ありがとうございます。県の計画としっかりとすり合わせながらやっていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

・その他よろしいでしょうか。では、また何かありましたら事務局の方にお申し出いただきたいと思っております。それでは第4号議案につきまして、協議会として、決を取ってまいりたいと思っております。それでは決議に移ります。提案に賛成の方、挙手をお願いいたします。

—全員挙手—

(唐澤議長)

・ありがとうございました。全員挙手でございまして、議案第4号につきましては提案の通り認めることに決定いたしました。

6 その他

(唐澤議長)

・それでは、6その他につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

—事務局より、以下の要領等について説明—

【資料 12】令和 8 年度飯島町地域公共交通計画策定業務委託に係るプロポーザル実施要領

【資料 13】令和 8 年度飯島町地域公共交通計画策定業務委託仕様書

【資料 14】令和 8 年度飯島町地域公共交通計画策定業務委託プロポーザル審査要領

(唐澤議長)

・今説明のありましたその他の項目につきまして、何かご質問ご意見等ありましたらお出しいただきたいと思えます。

(坂本委員)

・プロポーザルの時期がですね、ポイントアンケートとかした後に、プロポーザルするのはいいと思うんですけど、ずいぶん早いときにこのプロポーザルをする予定になっている。飯島の全域がわかってないと、交通ルートとかそういうものをこのプロポーザルで、調査をここに任せるためのプロポーザルなのか、そうじゃなくて、計画案を作るといことになる、ルートとかその病院とか学校とかそういうところを全部網羅した中で、作るのもプロポーザルで、そこら辺がちょっと、ある程度町が今言われたアンケートをね、取ってしまってその結果をこの人たちについていうか、飯島町の実態をわかった上でプロポーザルすればいいんですけど、どなたがプロポーザルで参加するかわかんないですけど、一般的なあり方で、これプロポーザルしても、うちの町にうまく合わないのではないかと私は心配するんですけども、プロポーザルをやる時期が早いのではないかと思うんですが、その点はどうなんでしょうか？

(湯沢主査)

・業者の選定についてですけれども、その業者の方にアンケートや調査計画を行っていただくものでありまして、令和 8 年度にかけて、アンケートを取るとか、ヒアリングを行うというのも、全てその業者さんにお任せをするという形になります。

・資料 12 の 3 ページ目に審査項目などもあるんですけども、こちら提案内容につきまして地域特性を踏まえた計画策定の考え方ですとか、完成度を高めるための PR とかそういうものももちろん調査項目に織り込んでおりますので、プロポーザルの時点で、最適な事業者にお任せをして、令和 8 年度の調査を全てお任せしていくという形になります。

(西村企画係長)

・1 点補足で。先ほど全体説明しましたが、いま立地適正化計画ですとか都市計画マスタープランを策定しています。こちらにつきましては今建設水道課が進めておりますが、2 年をかけていて、その中で、住民アンケートを実施しております。そういったバックデータもございますので、そういったものも活用しながら予定をしているということでございます。

(坂本委員)

・意味は分かりました。そのプロポーザルの企業さんというのはやはりうちだけではなく、各全国でこういう計画を何度か作った、そういう経験があるところに募集をかけるというか、知らせるっていうことでいいんでしょうか？

(西村企画係長)

・今回は公募型ですので、基本どこというわけではなく、応募をいただきまして、その中で審査をして、資料12番の評価項目ですね、ここで評価をさせていただくということになります。

(唐澤議長)

・その他よろしいでしょうか。
・それでは、いま町内で、路線バス等でデマンド交通事業をしていただいております、セブン自動車有限会社の社長でもあられます、熊谷委員さんの方から現状についてちょっとお話をいただければと思います。

(熊谷委員)

・現状を知っていただくということで、まず説明させていただくんですけど、まず路線バス、こちらについては昭和便がありまして、飯島駅から駒ヶ根を通過して昭和病院に行くルートでございます。定時路線で運行しています。それでデマンド交通、これは以前定時定路線で回ってたんですが、あまりにも乗るお客さんが少なくなったということで、デマンド交通、要するにセブン自動車の事務所に電話を置きまして、それでお客さんから電話をいただいた時点でお迎えに行き、目的地まで行くという形を取ってます。デマンド交通は3路線あります。七久保地区と、飯島地区を東と西で分けて2路線ですね。合計3路線運行してます。それで、現在バス停から乗って、降りるのはフリーという形を取ってます。その他に、役場に登録した人に対しては、自宅までお迎えに行き、降りると。どこで降りてもいいんですけど、そういう形で運行してる状態です。それで、現在大体自宅から乗ってくるお客さんは、約80名登録されているようです。今後も増える予定で、はっきり言ってタクシーと近い状況でやっています。

・タクシーについては皆さん、タクシーに乗られる方いらっしゃるのですが、迎えに行き、目的地まで、町外まで行きます。その部分については問題ないかと思うんですけど、大体利用されるお客様は60歳以上の人がほとんどですね。それでいて、病院、歯科医院、スーパーがほとんどです。残念ながら飯島は、1年前ですか。スーパーがなくなった状態ですんで、当然乗る人は少なくなる。タクシーとデマンドタクシー、乗合については同じ人を乗せてるんですね。ほとんど。両方利用してる人もいます。タクシーを利用する人はいま役場の方から基本料金の700円を利用して乗っている、というような形で今運行している状態であります。

・それで、これはうちの会社の話なんですけど。運転手は私も含めて6名なんですけど、もう4名が70歳。もう1人があと2、3年で70歳になります。コロナ以前のあたり

は、もう70歳の方は大抵リタイアしていく状況だったんですね。これから先、どこまでやれるかはちょっと不明です。1人はもう来年で引退するっていうのがもうある程度わかっています。それでいて、すいませんがいろんな事情で、これはうちに限らず経費がかかります。だいがソリンも高くなりますし、そういう意味ではちょっと苦しい状態にはなります。そういうことを考えますと、これから策定する交通会議の中で決定することについては、どこまで皆さんに協力できるかはわかりません。これだけはこの会議を利用してお伝えしておいた方がいいと思いますので言っておきます。

・これについては、3年前から大体わかるわけです。何人が70歳になるかっていうのは。これは3年前に役場に情報としてやってます。結果は見えてません。一応そういう状況で、うちは今現在やってますんで、どこまで協力できるかわかりませんが、そういう状況で今やってるということでご承知していただければ幸いです。

(唐澤議長)

・切実な状況をお伺いしましたが、何かご質問等あれば。

—意見なし—

(西村企画係長)

・1点だけ、事務局からお願いします。本日お配りいたしました資料 No.15、今後のスケジュールでございます。本日1回目を開催させていただきました。そして、令和8年度へ変わります、第1回目を令和8年6月ごろと予定しております。主な内容につきましては、協議会の決算また会計監査報告、さらに令和7年度路線バスデマンド交通運行事業の運行実績等、さらに交通計画の策定についてということで予定をしております。令和8年度につきましては、令和8年の6月と、令和9年の2月、2回を予定しております。そして、令和9年度でございますが、こちらにつきましては3回を予定しております。

・また、この事業等の進捗状況ですとか、日程調整が困難な場合につきましては書面決議ということも想定をしておりますので、お願いします。

(唐澤議長)

・次回6月のときには、選定した業者も出席ということでよろしいですか。

(西村企画係長)

・はい、その方向で予定をしております。

(唐澤議長)

・ありがとうございました。それでは、WEB参加の皆さま、またこちらに参加いただきました委員の皆様には、最後まで慎重にご審議をいただきまして、誠にありがとうございます。

ございました。感謝申し上げます。

- ・これで議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

(片桐副会長)

・長時間にわたりご審議ありがとうございました。これをもちまして、第1回飯島町地域公共交通協議会を閉会いたします。